



アカハライモリ



モートンイトトンボ



クマタカ



ネコギギ幼魚

奥三河自然環境シンポジウム

自然を守る ためにできること ネコギギがつなぐ、人と地域

豊かな自然の中に様々な動植物が生きている奥三河。国の天然記念物であるネコギギをはじめ、クマタカやホタル、ブナの原生林など、多くの動植物が生息しています。人が生活や活動をすることで、自然環境や生き物にも影響を及ぼすようになりました。本シンポジウムで自然環境の変化や現状を学び、奥三河の自然環境を保全するため何ができるか考えてみませんか。

2024
10/26 土
13:30-16:00

入場
無料

定員
100名

オンライン
でも開催

会場

設楽町立
田口特産物振興センター

申込期限

10/18 金

申込方法

WEB 受付

お申込みは
こちら



講演者

- 加藤 博俊 (奥三河ふるさとガイド)
- 地村 佳純 (碧南海浜水族館 館長)
- 愛知県環境局自然環境課
- 愛知県立田口高等学校

パネルディスカッション

【コーディネーター】

- 森 誠一 (岐阜協立大学 教授)

【パネリスト】

- 加藤 博俊 (奥三河ふるさとガイド)
- 後藤 健宏 (いなべ市教育委員会 自然学習室 室長)
- 地村 佳純 (碧南海浜水族館 館長)
- 原田 敏之 (新城設楽生態系ネットワーク協議会 副会長)
- 増田 元保 (碧南海浜水族館 元館長)
- 田中 康寛 (設楽ダム工事事務所 所長) (敬称略)

主催

設楽町、国土交通省 中部地方整備局 設楽ダム工事事務所

後援

愛知県

お問合せ

設楽ダム工事事務所 調査課 ☎0536-62-1292
✉ cbr-stdmtyo1@mlit.go.jp



ブナの原生林